

昭和61年 6月26日

所 属 長 殿
関 係 各 位

全国バス学習研究会 名誉会長 塩 田 芳 久
名古屋大学 名誉教授

全国バス学習研究会 会長 永 井 辰 夫
稲沢女子短期大学 教授

第21回全国バス学習研究集会 会長 杉 江 修 治
中 京 大 学 教 授

第21回全国バス学習研究集会

— ご 案 内 —

梅雨の候、貴職にはますますご清栄のことと存じ、およろこび申し上げます。

さて、私共は、このたび次の要領で第21回全国バス学習研究集会を開催いたします。

さまざまな教育問題をかかえ、学校教育はいま、厳しく問い直されてきています。教育に従事する者は改めてみずからの実践を見つめ、その役割を果すための最大の努力を要求されています。

バス学習は四半世紀に及ぶ実践研究と理論的検討を経て、日々の教育活動改善の方策はもちろん、非行の根絶、地域との教育連携といった困難な実践的成果を数多くつみあげてきました。

今回の研究集会では研究発表を軸とした実践深化のための意見交換だけでなく、バス学習の理論と実践を具体的にご紹介する機会を多く設けました。また私共、バス学習の研究、実践者もさまざまな経験をおもちの先生方、さらにはPTAの方々もふくめて広く御教示を得たいと考えております。

この研究集会では次のような研究主題をたてました。

いま教師にできること—バス学習からの提言—

公私ともにご多忙とは存じますが、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

主 催 全国バス学習研究会

後 援 愛知県教育委員会 中 日 新 聞 社
名古屋市教育委員会 中 京 大 学

期 日 昭和61年 8月21日(木)、22日(金)

会 場 中京大学八事校舎

I 研究主題..... P.1

II 開催要項..... P.2

1. 期 日

2. 会 場

3. 日 程

4. 参加申込み

5. 宿泊申込み

6. 懇親会

7. 会場案内

8. 問合せ先

III プログラム

1. 全体会..... P.6

2. 分科会..... P.7

3. レクチャー・フォーラム..... P.9

I 研究主題

「いま教師にできることーバズ学習からの提言」

教育の現場は揺れている。内に非行、いじめ、さらに受験体制のなかでゆがめられてきた教科指導。外に臨時教育審議会を中心とする教育改革の動き。

教師は押し流されてはならない。日々の教育実践を落ち着いてながめ直し、適切な意志決定を行わなくてはならない。どんなときにも、一日一日、一時間一時間は、子供ひとりひとりの成長発達にはかけがえのない学習機会なのだから。

バズ学習は1962年、八開中学校の実践を報告した「バズ学習方式ー落伍者をつくらぬ教育」で広く知られるようになった。以来約四半世紀。人間関係を基盤とした指導の理念は、実践者と研究者の実証的な経験の積み重ねによるち密な指導技法の開発を相伴って、それが教育の原点に立っているものであり、また先端を切り開いていくものだという確信を強めてきている。

バズ学習の全国研究集会も21回をむかえた。今回はその発祥の地ともいべき愛知県で開催することとなった。そこでバズ学習の発展を基礎づける試みを行うとともに、バズ学習とは何かということを生きた知識としてさらに広く知っていただく機会を多く設けることにした。今、自らの教育改革(指導改善)を求める実践者の方々に対して、バズ学習からたくさん提案をしたい。バズ学習のなかで実践者は何をしてきたのか。そしてバズ学習を通して「いま教師にできること」は何があるのか。

バズ学習実践者にとどまらず、熱意ある教育実践者の方々には是非ご参加いただきたい。「いま教師にできること」を求めて!

Ⅱ 開催要項

1. 開催期日 昭和61年8月21日(木)、22日(金)

2. 会場 中京大学 八事校舎

3. 日程

	9:00	9:20	10:00		12:30	13:00	14:00		16:30	17:30	19:30
8月21日	受付	開会行事	全体会 「なぜバズ学習にとりくんだか」	昼食	分科会 打ち合せ	分科会 「どのようにバズ学習をすすめるか」	会場移動	懇親会			
8月22日	受付	全国バズ学習研究会総会	レクチャー・フォーラム 「いま教師にできること」	閉会行事							
	9:00	9:20	10:00		12:30	13:00					

4. 参加申込み

- (1) 大会参加費 2,000円 当日受付で納入してください。
- (2) 参加申込み方法 別紙申込用紙に必要事項を記入のうえ申込んでください。
- (3) 申込みメ切 8月6日(水)
- (4) 申込み先

5. 宿泊申込み

- (1) 宿泊所 ホテルリッチ (地下鉄東山線伏見駅下車徒歩5分)
- (2) 宿泊申込み方法 別紙ご案内の要領で旅行社に直接申込んでください。

6. 懇親会 22日 17:30~19:30

- (1) 場所 ウイング (中京大学南 徒歩5分)
(2) 会費 5,000円 当日受付または懇親会会場受付で納入してください。
(3) 申込み 参加申込み用紙の懇親会の項に○印をご記入ください。

7. 会場案内

- (1) 交通案内 名古屋駅から地下鉄、東山線(藤ヶ丘行)乗車、一つ目「伏見駅」で乗り換え、地下鉄・鶴舞線(豊田市行または赤池行)に乗車し、八つ目「八事(やごと)駅」で下車する。

「八事駅」①番出口より会場まで徒歩3分です。

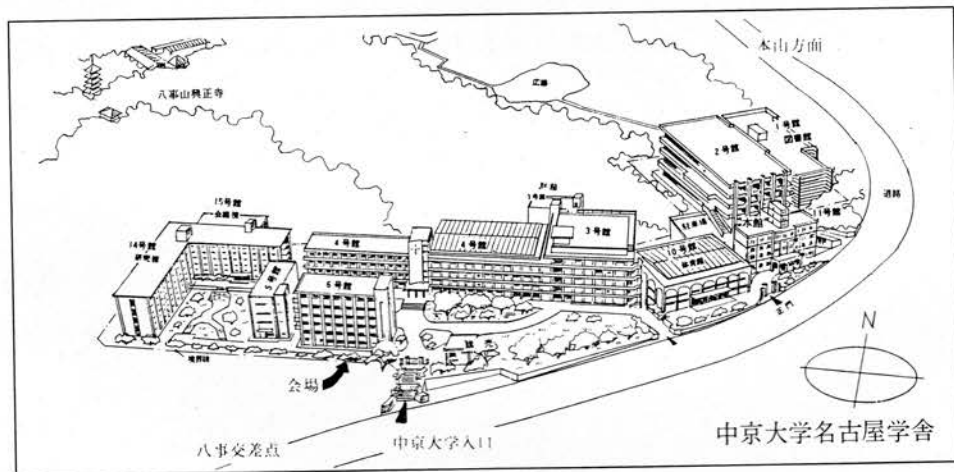
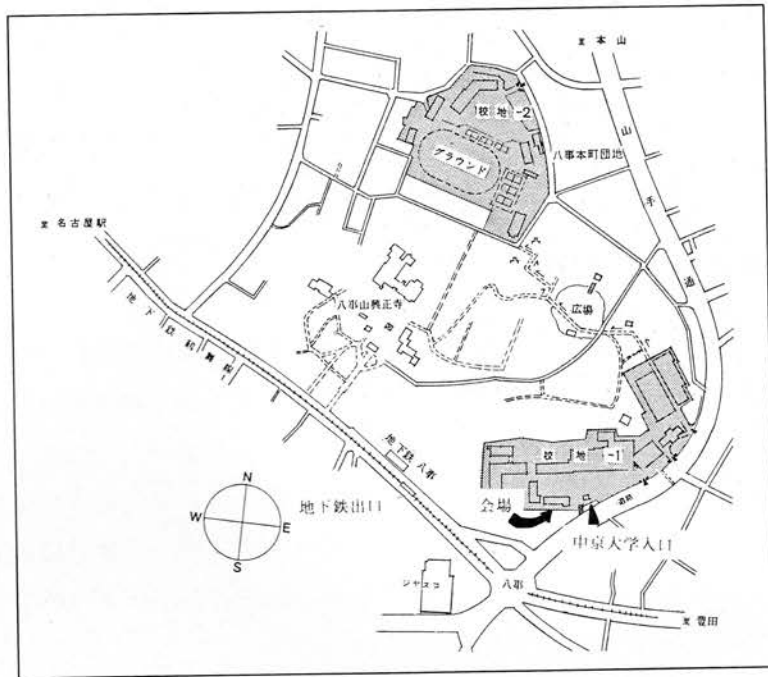
(名古屋駅→大会会場 所要時間約30分)

(タクシーは国鉄名古屋駅より約25分、料金2,000円ぐらいです。)

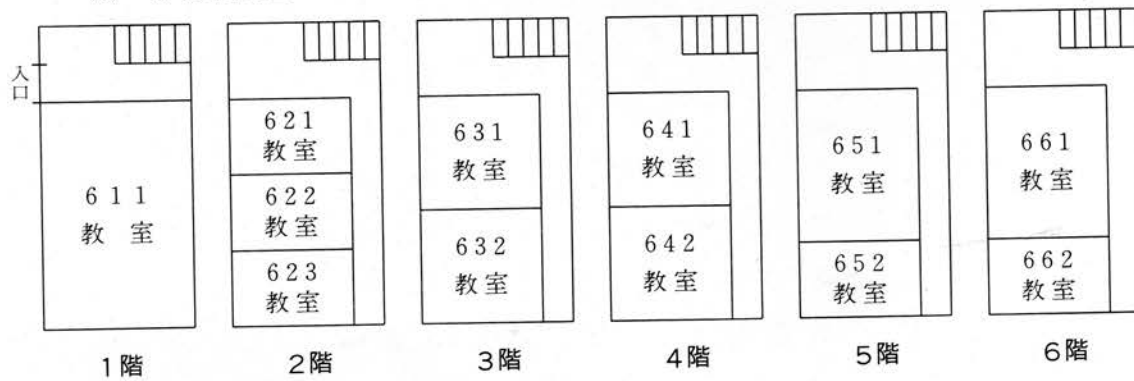
大学構内には駐車余地がありません。また周辺も繁華街のため駐車場所がありませんので、公共の交通機関をご利用下さい。

- (2) 会場案内
- | | | |
|-------------|---|----------------|
| 大会受付 | : | 6号館入口 |
| 開会行事 | : | 611 教室 |
| 全体会 | : | 611 教室 |
| 分科会打合せ | : | 623 教室 |
| 分科会Ⅰ | : | 621 教室 |
| 分科会Ⅱ | : | 631 教室 |
| 分科会Ⅲ | : | 632 教室 |
| 分科会Ⅳ | : | 641 教室 |
| 分科会Ⅴ | : | 642 教室 |
| 分科会Ⅵ | : | 651 教室 |
| 分科会Ⅶ | : | 652 教室 |
| 総会 | : | 611 教室 |
| レクチャー・フォーラム | : | 611 教室 |
| 閉会行事 | : | 611 教室 |
| 休憩室 | : | 622 教室 |
| 事務局本部 | : | 非常勤講師室 (研究棟1階) |

(3) 交通案内図



(4) 会場案内図



Ⅲ プ ロ グ ラ ム

－ 開 会 行 事 －

挨 拶	第21回全国バス学習研究集会会長	杉 江 修 治
	全国バス学習研究会会長	永 井 辰 夫
	全国バス学習研究会名誉会長	塩 田 芳 久

祝 辞	愛知県教育委員会
	名古屋市教育委員会
	中京大学

1. 全体会

「なぜバズ学習にとりくんだか」

8月21日(木) 10:00~12:30

学校により、かかえる問題はさまざまである。幾つかの学校はその問題を解決する糸口にバズ学習を選んだ。どのような問題意識がバズ学習とむすびついたのだろうか。そしてバズ学習によるとりくみはどのようにすすめられ、どのような成果を生み出したのだろうか。

バズ学習にとりくんだ実際の4事例を、体験的に報告していただく。

司会者	荻原克己 (春日井市立中部中学校校長)
報告者	石河竹二郎 (伊吹町立伊吹小学校校長)
	加藤倅一 (姫路市立四郷小学校校長)
	清水快雄 (土岐市立泉中学校校長)
	越智昭孝 (広島県立広高等学校教諭)

(メモ)

2. 分科会

「どのようにバス学習をすすめるか」

8月21日(木) 14:00~16:30

ここでは二つのタイプの分科会を設定した。一つはバス学習のすすめかたの基礎的、入門的な学習会である。また一つはバス学習実践者の研究発表会である。

前者では、バス学習の基本的な指導理念を実現するための指導方法を学習する。分科会1~4がそれにあたる。

分科会5~7は主にバス学習実践者による実践交換の場であり、新しい実践を生み出す契機となろう。

[分科会1] 小学校低学年のバス学習

司会者 竹本篤松(豊田市立若林東小学校)
北村艶子(元徳島市立福島小学校)
提案助言者 松原敏浩(大同工業大学助教授)
鹿内信善(北海道教育大学助教授)
谷水永(広島県豊浜町立豊島小学校)
柳内翠(姫路市立城北小学校)
記録者 樋口禎子(春日井市立松山小学校)

[分科会2] 小学校高学年のバス学習

司会者 丸山正克(豊川市立代田小学校)
福島達郎(姫路市立船津小学校校長)
提案助言者 太田信夫(筑波大学助教授)
市川千秋(三重大学教授)
山田節男(春日井市立神屋小学校校長)
田川正樹(春日井市立松山小学校)
記録者 谷口明(春日井市立篠原小学校)

[分科会3] 中学・高校のバス学習—教科指導からのスタート

司会者 望月和三郎(東京都清瀬市立第五中学校校長)
右高德夫(春日井市立東野小学校校長)
提案助言者 杉江修治(中京大学教授)
小森孝彦(京都女子大学助教授)
土屋邦雄(新潟市立曾野木小学校校長)
水野せつ子(土岐市立泉中学校)
記録者 水谷年孝(春日井市立高森台中学校)

〔分科会4〕 中学・高校のバス学習—生活指導からのスタート

司会者 山田 素之 (土岐市立教育研究所)
高磯 忠實 (姫路市立飾磨中部中学校校長)
提案助言者 小石 寛文 (神戸大学助教授)
速水 敏彦 (大阪教育大学助教授)
横手 茂 (広島県豊町立豊中学校)
古賀 直人 (春日井市立鷹来中学校)
記録者 森田 浩 (春日井市立東部中学校)

〔分科会5〕 バス学習による教育態勢づくり

司会者 越智 昭孝 (広島県立広高等学校)
今尾 啓一 (春日井市立藤山台東小学校校長)
提案助言者 石田 裕久 (南山大学助教授)
白井 仁 (元豊川市立中部中学校校長)
寺井 正輝 (春日井市立中部中学校)
松井 郁 (姫路市立白浜小学校)
記録者 大島 郁雄 (春日井市立松原小学校)

〔分科会6〕 バス学習による教科指導の方法

—ひとりひとりを生かす指導に向けて—

司会者 小島 幸彦 (東濃教育事務所主事)
山本 亀夫 (姫路市立灘中学校校長)
提案助言者 永井 辰夫 (稲沢女子短期大学教授)
梶田 正巳 (名古屋大学助教授)
辻 善造 (春日井市立小野小学校)
井端 保夫 (姫路市立高丘中学校)
記録者 水田 博和 (春日井市立西部中学校)

〔分科会7〕 バス学習による生活指導の方法

—非行・いじめ・登校拒否の克服に向けて—

司会者 新田 正彦 (元広島県立豊高等学校校長)
松本 重雄 (春日井市立松山小学校校長)
提案助言者 塩田 芳久 (名古屋大学名誉教授)
中野 靖彦 (愛知教育大学助教授)
鈴木 昭 (豊川市立東部小学校校長)
喜多 英雄 (姫路市立林田中学校)
記録者 大脇 希文 (春日井市立石尾台中学校)

3. レクチャー・フォーラム

「いま教師にできることーバズ学習からの提言ー」

バズ学習の基本とその発展の過程を、レクチャー・フォーラムの形式で解説し、バズ学習の学習指導法としての特質を明らかにする。

それはバズ学習の内部では、長年の実践と研究をあらためて組み立て、ながめ直す貴重な機会となるだろう。

また、それが教育実践にどのように貢献しうるかを、バズ学習から外に具体的に示す機会となるだろう。

参加者の方々には、「いま教師にできること」を、バズ学習の理論と実践の中から豊かに引き出していただきたいと願い企画した。

司 会		塩 田 芳 久
報 告	「バズ学習の基本」	永 井 辰 夫
	「教授・学習研究から見たバズ学習」	梶 田 正 巳
	「今の実践に生きるバズ学習」	荻 原 克 己

(メモ)